

構造改革特別区域計画

1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

佐賀県競馬組合

2 構造改革特別区域の名称

佐賀競馬 新勝馬投票法「七重勝単勝式」導入特区

3 構造改革特別区域の範囲

鳥栖市の区域の一部（佐賀競馬場）

4 構造改革特別区域の特性

佐賀競馬は、平成 3 年度には勝馬投票券の年間発売額が 360 億円となり、競馬事業による収益は地方財政に大きく寄与し、地方住民の生活環境の整備に貢献してきた。

しかしながら、近年ではレジャーの多様化や景気の低迷による発売額の大幅な減少により、厳しい経営状況が続いている。

その中であって、ICT を活用したインターネット発売（在宅投票）は順調に推移しており、今後収益の柱の一つとなると考えられる。

このため、佐賀競馬では、平成 22 年 1 月よりインターネット発売（在宅投票）による「五重勝単勝式」を導入し、佐賀競馬の魅力づくりに取り組んでいるところであるが、佐賀競馬場固有の特性（競馬場のカーブが小回りであり、かつ直線部が短く、順位変動が起こりにくいため、比較的、勝馬投票が的中されやすい傾向があること）及び他の地方競馬主催者や中央競馬との重複により、この投票法も、導入当初に見込んでいたような魅力のある商品にはなりきっていない現状がある。

このようなことから、インターネットユーザーに対し、新しい賭式を提示することで、従来の競馬ファンを惹きつけるとともに、新規ファンの獲得を目指すものである。

5 構造改革特別区域計画の意義

競馬の勝馬投票法の種類（馬券の種類）は、競馬法及び同法施行規則において限定されており、5 つ以下の競走の一着馬を全体的中させる投票法は認められているが、6 つ以上の競走については認められていない。

また、公営競技を取り巻く環境は変化してきており、他の公営競技においても重勝式が導入され、中央競馬も平成 23 年 4 月より重勝式の発売が始まった。

そういった中で、ICT を活用したインターネット発売（在宅投票）は順調に推移しており、発売総額に占めるシェアも急拡大していることから、インターネットユーザーに対し新しい賭式「七重勝単勝式」を提示することにより、新規ファンの獲得による収益増につながる。

佐賀競馬運営の安定化は、地域経済への貢献及び畜産振興に寄与するものである。

6 構造改革特別区域計画の目標

佐賀県競馬組合は、昨今のレジャーの多様化や景気の低迷による勝馬投票券の発売額の大幅な減少をうけ、厳しい経済状況ではあるが、平成 17 年に「佐賀競馬の収支改善に向けての基本方針」、平成 22 年に「佐賀競馬収支改善のための基本方針」に基づき経営の改善を図っているところである。

その中で、佐賀競馬では、平成 22 年 1 月よりインターネット発売（在宅投票）による「五重勝単勝式」を導入し、佐賀競馬の魅力づくりに取り組んでいるところであるが、導入当初に見込んでいたような魅力のある商品にはなりきっていない（的中率が高く、キャリーオーバーの発生率が低い等）。

このようなことから、佐賀競馬において、新たにインターネットを活用した「七重勝単勝式」を導入することにより、五重勝よりもキャリーオーバーなどの面で魅力の多い新賭式を提示することで、売得金の増及び従来の競馬ファンを惹きつけるとともに、新たな競馬ファンを獲得するものである。

（目標売得金額の考え方）

佐賀競馬においては、現在（平成 23 年 4 月～）の五重勝単勝式のキャリーオーバー発生率が 21.7%で、1 開催に 1 回程度発生していることから、4～5 日開催のときは 2 回、6 日開催の時は 3 回の発生と仮定し、目標売得金額を 264,627,600 円とした。（参考資料Ⅰ「七重勝単勝式におけるキャリーオーバー発生頻度別売上予測」参照）

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的役割

近年のレジャーの多様化や景気の低迷により発売額は年々減少しており、平成 21 年度では累積赤字が約 7 千万円と財政状況は逼迫している状況である。

こういった中でも、ICT を活用したインターネット発売（在宅投票）は順調に推移しており、発売総額に占めるシェアも急拡大している（参考資料Ⅲ参照）。そこで、イ

インターネットユーザーに対し新しい賭式「七重勝単勝式」を提示することにより、新規ファンの獲得による収益増につながる。

佐賀競馬の収益が良くなることにより、配分金による地方公共団体の財政への寄与及び畜産の振興につながる。また、新規競馬ファンの獲得は、競馬場への来場を促し、地域経済の活性化にもつながると考えられる。

8 特定事業の名称

1012 地方競馬における七重勝単勝式勝馬投票法の実施事業

9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

佐賀県競馬組合は平成 22 年 4 月に策定した「佐賀競馬収支改善のための基本方針」（平成 22 年度～平成 24 年度）において、将来にわたって継続的に安定的な競馬事業の運営が出来るように収支改善を目指している。

【収支改善についての具体的方策】

(1) 発売額の増収策

- ・平成 22 年度より NAR（地方競馬全国協会）の新設された企画競走「牝馬重賞シリーズ」に「ル・プランタン賞」で参加。

(2) 他主催者および委託業者との連携による増収策

- ・ネット発売を委託している事業者と連携し、ネット上での佐賀牛プレゼント等のキャンペーンを平成 22 年度に実施。
- ・新規にオープンした BAOO 場外発売所（BAOO 天文館（平成 22 年 6 月）、BAOO 鳥取岩美（平成 22 年 7 月）へ積極的に委託発売を拡大。
- ・他主催者との連携による委託・受託場外の拡大を図った。

受託（全日発売）日数 平成 21 年度 333 日（うちリレーナイター 94 日）
平成 22 年度 352 日（うちリレーナイター 100 日）

(3) 経費節減・業務の合理化策

- ・平成 23 年度より賞金・諸手当の削減
- ・業務の外部委託化を進め、退職職員は不補充とし職員数を削減
- ・開催業務費について効率的な運営の見直しを行い経費の削減を実施

別紙 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業の内容、
実施主体及び開始の日並びに特定事業ごとの規制の特例措置の内容

別紙

1 特定事業の名称

1012 地方競馬における七重勝単勝式勝馬投票法の実施事業

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

佐賀県競馬組合

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

平成 24 年 4 月 1 日

4 特定事業の内容

佐賀競馬場において発売している 9 賭式（単勝式、複勝式、枠番号連勝複式、普通馬番号連勝複式、拡大馬番号連勝複式、馬番号連勝単式、馬番号 3 連勝複式、馬番号 3 連勝単式、五重勝単勝式）に加え、インターネットを活用した勝馬投票法「七重勝単勝式」の発売を実施する。

5 当該規制を実施するにあたっての条件

競馬法施行規則の特例第一条中、次の各号に該当すること。

一 当該申請の日の属する月の前月の末日以前一年間の全ての競馬の開催日において、五重勝単勝式勝馬投票法を実施していること。ただし、やむを得ない事情により五重勝単勝式勝馬投票法を実施できなかった場合はこの限りではない。

二 前号の期間内に実施された五重勝単勝式勝馬投票法により勝馬となったものに対する勝馬投票券の総券面金額合計額を当該五重勝単勝式勝馬投票法の勝馬投票券の売得金（競馬法第七条第一項に規定する売得金をいう。）の額の合計額で除して得た値の五乗根となる値を七乗して得た値が、当該期間内に実施された中央競馬（同法第一条第五項に規定する中央競馬をいう。）又は地方競馬の各競走における出走馬の頭数のうち最大のを基に算出した五重勝単勝式勝馬投票法に係る勝馬の的中の割合以上であること。

⇒ 佐賀競馬においてはいずれも条件を満たしている。

●条件一を満たす資料

参考資料Ⅱを参照

●条件二を満たす根拠資料

佐賀競馬（五重勝単勝式） 1年間の平均的中割合 0.6331%

$$\left[\begin{array}{l} 732,900 \div 115,759,100 \doteq 0.006331 \\ \text{的中勝馬投票券の総券面金額} \div \text{勝馬投票券の売得金} \\ \text{※平成22年10月} \sim \text{平成23年9月の実績値} \end{array} \right]$$

佐賀競馬（七重勝単勝式に換算した値） 的中割合 0.08357%

$$\left[\begin{array}{l} \text{佐賀競馬 五重勝単勝式平均的中割合の5乗根を7乗した値} \\ \text{※佐賀競馬（五重勝単勝式）から算出した推定値} \end{array} \right]$$

中央競馬（五重勝単勝式） 的中割合 0.000052922%

$$\left[\begin{array}{l} 18 \text{分の} 1 \text{を} 5 \text{乗した値} \\ \text{※中央競馬18頭立て五重勝単勝式的中割合より} \end{array} \right]$$

0.08357% > 0.000052922% より、条件二を満たす。